

路線バス乗り継ぎで目黒へ (R04.11.15)

晩秋の陽気に誘われて…

平成の終りごろからテレビ番組に路線バスを企画したものが登場。小生も目黒会参加時に路線バス（旅）を楽しもうとしたが、体調変化、コロナ禍もあり見合わせ。今回は、体調良し、コロナも一段落、チャンス到来と！

小生の最寄り駅は東武東上線みずほ台駅(S52 開業)、早速、情報集めと路線選びを始めたが、市内循環のライフバスでは、開宴の12時には間に合わず、仕方なく、志木駅までは自宅 0745 出発して電車利用に。



昭和の頃は志木駅南口を結ぶ東武バス路線があり、その偲ぶ写真をネットで偶然見つけた次第。

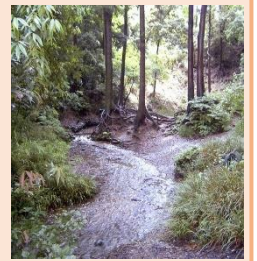
出発地の東上線「志木駅」は、志木市ではなく、新座市東北二丁目にある。当初は白子（現・和光市駅）から川越街道に並行して敷設される計画であったが、志木町の商人および沿線の有力者によって新河岸川（舟運）と南側の川越街道を避けるように要請され、新座市の現在の場所に建設された。



最初の乗り継ぎバス停。
「福祉センター入口」（バス停待合室）
全バス停に屋根と椅子があればな～

目黒に行くのに黒目川を渡るとは…
黒目川は、東京都及び埼玉県を流れる一級河川。（左写真は、堀之内橋）
その源は、小平霊園内に発し、東久留米市、新座市を流れ、朝霞市根岸で荒川水系の新河岸川に合流。名称の由来は、湧水が多いことから「土が黒めの肥沃な地」が有力視。
平成の名水百選に選ばれた妙音沢の流れが黒目川と合流するあたりから西方向にと朝霞台駅付近に桜堤がある。

妙音沢とは、黒目川沿いの急斜面の雑木林内に湧き出て、環境省が所管する「平成の名水百選」に選定されている100mほどの清流。




都内に入り最初の乗り継ぎバス停「住宅前」
ネーミングに、特徴がないのが特徴か？



路線バス移動計画

【志木駅～目黒駅】

令和4年11月15日(火)
 (自宅 0745～みずほ台駅 0759～～
 0803 志木駅) ≪トイレ≫

志木駅南口(始)0813

1番西武バス【ひばり 73】
 ひばりが丘北口行

0834 **福祉センター入口(始)0847**

西武バス [泉 30] (折返場)
 大泉学園駅北口行

0900 **住宅前 0911**

西武バス [荻 15]
 阿佐ヶ谷駅前行

1002 杉並区役所前⇒≪トイレ≫

杉並区役所前 [南阿佐ヶ谷駅] 1015

1番京王バス [渋 66]
 渋谷駅行

1110 渋谷駅前⇒**渋谷駅(東口) (始)1115**

53番東急バス [渋 72] 五反田駅行

(予備) 渋谷駅(始)1119

33番東急バス [渋 41]

恵比寿駅～大井町駅行

1130 **大鳥神社前 1133**

東急バス [黒 01] 目黒駅前行

1143 大鳥神社前 1146

1140 目黒駅前

1150 居酒屋“北海道”

1152 目黒駅前



最速路線は、志木駅南口(京急バス)
 ⇒羽田空港 2TM⇒渋谷駅⇒大鳥神社前
 ⇒目黒駅 約3時間 (今回は、首都高回避)
 * 路線経路上の写真は、Google Mapの「ストリートビュー」からコピーしたものです。

乗り継ぎ路線数： 6本
 経路： 志木駅(1)～福祉センター入口(16)～
 住宅前(26)～杉並区役所前(58)～
 渋谷駅(87)～大鳥神社前(98)～目黒駅(100)
 バス停数： 100ヶ所/上記()累計数
 全距離数： 35Km
 所要時間： 3時間29分
 総運賃額： 1,350円



都内に入り 2 番目の乗り継ぎバス停
「杉並区役所前」西側で下車。

路線によりバス停位置も違い
「杉並区役所前」南側で乗車。

乗り継ぎの「渋谷駅」
バス停多く、複雑、迷わぬよう
に駅周辺地図を準備



黒目川を記して、目黒川も記して…。
目黒川は、世田谷区・目黒区・品川区
を流れて東京湾に注ぐ 2 級河川。
名称の由来は、江戸時代の絵図に「目
黒川」と記したものはなく、この川で
身を清めてから目黒不動尊（瀧泉寺）
に詣でたことにちなむ説が有力視。
大正のはじめには治水とともに運河
にするための工事が始まり昭和 12 年
に完成、地元の有志がその記念として
桜を植え、今の目黒川の桜並木に成長
している。



瀧泉寺は、目黒区下目黒に所在
する天台宗の寺院。山号は泰叡
山（たいえいざん）。
不動明王像を本尊とすることから、
「目黒不動尊」「目黒不動」
「お不動さん」などと通称され
ている。
一帯の地域名「目黒」は当寺に
由来するとの説が有力。

堂宇建立を決意した開基の円仁
が法具の獨鈷を投じると、泉が
湧出した。その泉は「獨鈷の瀧」
と名付けられ、この泉
に因んで
「瀧泉寺」
とした。



最後の乗り継ぎバス停 「大鳥神社前」
「大鳥神社」は、目黒区下目黒にある目黒区最古の神社。
かつての目黒村の総鎮守。
11月に行われる酉の市でも知られている。
部下の目の病の治癒を祈願し、無事治癒した由緒があり、
盲神（めくらがみ）と呼ばれ、この「めくら」が
段々と訛っていき「目黒（めぐろ）」という地名の
由来の神社となっている。



天候に恵まれ、渋滞も、トラブルもなく、ほ
ぼ予定どおりに乗り継ぎ、開宴時間に間に合
い、また、日頃見えてない景色や町状況を車
窓から楽しむこともでき、大成功の路線バス
のひと時（旅）でした。
今回は、無計画性、グルメ巡り、名勝地探
訪、高速利用などはせず、ネットを最大限活
用したもので記述しています。（R04. 11. 12 記）

11. 15 に本紀行文案の実証予定でしたが、陽
気はずれ（雨・寒冷）に体調崩しもあり、無
理せず、来年の陽春に延期。（R04. 11. 15 記）



目的地「目黒駅」到着
バス停向いの居酒屋
「北海道」入口